

大麦管理情報 (第2号)

令和7年12月8日
福光農業改良協議会
砺波農林振興センター南砺班
福光農業協同組合 営農部

播種時期に降雨の日が多くなったことから、播種時期が遅くなり、そのため苗立が全体的に少なく、現在の茎数もやや少なくなっています。

積雪前に、**溝の点検・手直し**を行い、消雪後速やかに排水できるように、**排水対策を確実に**行いましょう。

1 排水対策

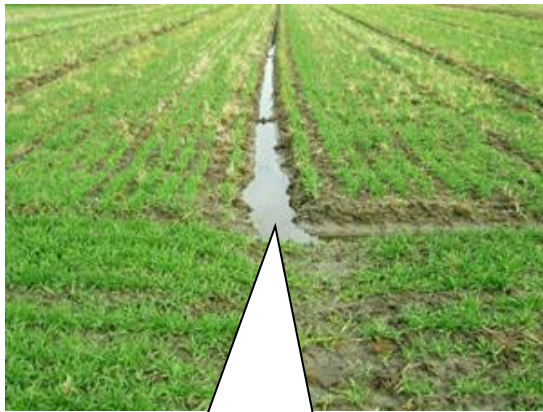
- (1) 積雪前に**排水口まで溝がしっかり連結**されているか確認し、溝の手直しを行いましょう。

表 麦の生育調査結果 (12/1時点)

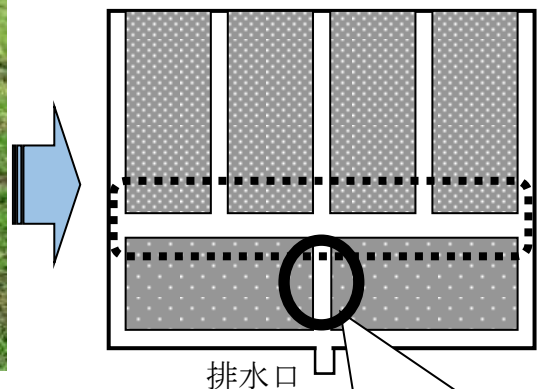
	播種日 (月日)	苗立数 (本/㎡)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉色 (SPAD値)
R8年産	10月3日	128	27.3	641	38.8
平年	9月30日	157	30.7	666	37.5

※JA 福光管内 3ほ場

- (2) 降雨後にはほ場を確認し、水が停滞している所は、**溝を深く掘り下げて排水口につないで**、短時間で排水できるようにしましょう。



溝の連結不足で排水されず、常に水が溜まっている。



溝の手直しや新たに溝を掘ることで排水口 周辺の排水溝にしっかり連結する。

2 年内追肥

- (1) 肥効調節型肥料(基肥一発肥料)を使用しているほ場は、**原則年内追肥は必要ありません。**
- (2) 葉色がさめているほ場では、溝に停滞水があるなど、湿害の影響を受けている場合がほとんどです。**まずは排水対策を徹底**しましょう。
- (3) 茎数が少なく、葉色が極端にさめている場合は、農協や農林振興センターにご相談ください。